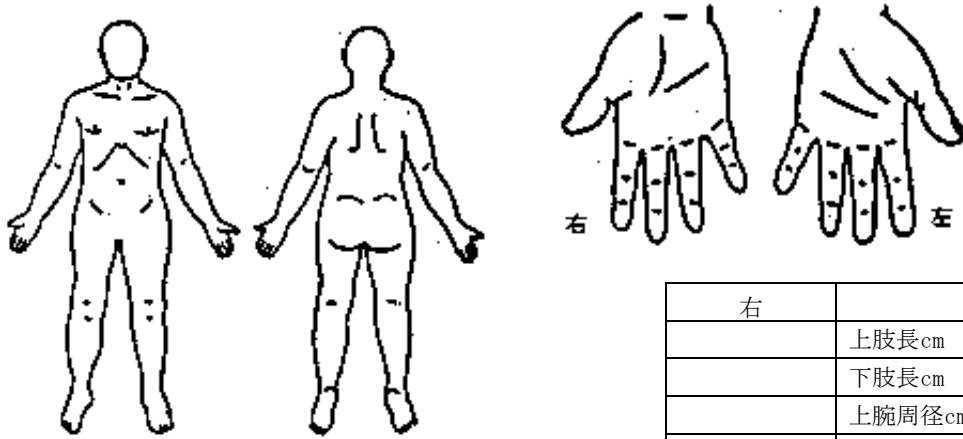


肢体不自由の状況及び所見

神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見（該当するものを○で囲むこと。）

- 1 感覚障害（下記図示）：なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
- 2 運動障害（下記図示）：なし・弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・振顫・運動失調・その他
- 3 起因部位：脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他
- 4 排尿・排便機能障害：なし・あり
- 5 形態異常：なし・あり

参考図示



右		左
	上肢長cm	
	下肢長cm	
	上腕周径cm	
	前腕周径cm	
	大腿周径cm	
	下腿周径cm	
	握力kg	

×変形 ■切断断 ▨感覚障害 ▨運動障害

(注) 関係ない部分は、記入不要

動作・活動 自立○ 半介助△ 全介助又は不能×、()の中のものを使うときは、それに○

寝返りする。		シャツを着て脱ぐ。	
足を投げ出して座る。		ズボンをはいて脱ぐ(自助具)。	
いすに腰掛ける。		ブラッシで歯を磨く(自助具)。	
立つ(手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具)。		顔を洗いタオルでふく。	
家の中の移動(壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車いす)。		タオルを絞る。	
洋式便器に座る。		背中を洗う。	
排泄の後始末をする。		2階まで階段を上って下りる(手すり、杖、松葉杖)。	
(はしで) 食事をする(スプーン、自助具)。		屋外を移動する(家の周辺程度)(杖、松葉杖、車いす)。	
コップで水を飲む。		公共の乗物を利用する。	

注：身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）の等級は、機能障害（impairment）のレベルで認定されますので、()の中に○がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

計測法：

上肢長：肩峰、→ 橈骨茎状突起

前腕周径：最大周径

下肢長：上前腸骨棘 → (脛骨) 内果

大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径（小児等の場合は、別記）

上腕周径：最大周径

下腿周径：最大周径

